

福井県では、クマの出没数が年々増加し、不幸な人身事故も発生しています。クマはなぜ山から下りて来るのでしょうか？そして事故を避けるにはどうすれば良いのでしょうか？

人とクマとが共存するためには、まずは、私たちがクマのことを良く知ることが大切なかもしれません。

今回は、クマに“首輪型カメラ”を付けるなどユニークな研究をされてきた、後藤優介学芸員（茨城県自然博物館）をお招きし、貴重なクマ目線の映像とともにクマの生態についてご講演頂きます。

冬眠明けのクマ出沒時期を前に、クマとの付き合い方を考えてみませんか？



参加
無料
100名

講演会

クマ目線で考える人とクマとの付き合い方

～GPS首輪と首輪型カメラ追跡の事例から～

講師

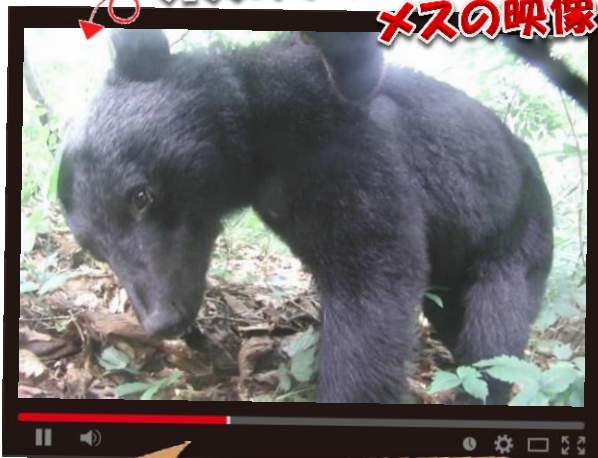
ミュージアムパーク茨城県自然博物館

後藤 優介 氏

GPS首輪や首輪型カメラを用いた“バイオロギング”の手法により、これまで知られていなかったツキノワグマの生態を解明してこられました。人々がクマに関する正しい知識を身につけて、人間とクマが互いに安全に暮らせることを目指し、普及啓発や教育活動にも尽力されています。



オスのクマが撮影したメスの映像



出会った2頭はこのあと、いったいどうなるの!? 走ったり、食べたり、めったに見られないクマ目線の映像もぜひお楽しみください!

日時

2018年
3月18日(日) 14:00~15:30

会場

福井県立図書館多目的ホール
福井市下馬町51-11



講演会の前は…、クマの毛皮かぶり体験

本物のクマの毛皮に触れて、クマの大きさやツメの鋭さを体感しよう!



【時間】 10:30~13:30
【場所】 多目的ホール周辺

お申し込み ※3月13日締め切り

福井県自然保護センター
[電話] 0779-67-1655 [FAX] 0779-67-1656
[メール] sizen-ci@pref.fukui.lg.jp